

令和3年10月29日

病院関係者各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
救急医療担当理事 高室 暁

令和3年度神奈川県と医療機関の災害時医療情報伝達訓練への参加について

湘南鎌倉総合病院を通じて、通知がまいりましたのでお知らせいたします。

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室災害医療担当課長
(公印省略)

令和3年度神奈川県と医療機関の災害時医療情報伝達訓練への参加について (依頼)

本県の災害時医療対策につきましては、日ごろ格別な御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、県全体の医療調整や被災地域への適切な保健医療救護活動の支援を行うため、災害発生時に広域災害救急医療情報システム (以下「EMIS」という。) を活用し、医療機関の被災状況、受入可能な患者数等を迅速に収集することとしています。

つきましては、災害発生時に迅速かつ適切な保健医療救護体制を確保できるよう、次のとおり、EMISを活用した標記訓練を実施しますので、御参加くださるようお願いいたします。

1 訓練内容

(1) 訓練実施期間

令和3年11月15日 (月) 午前8時30分～11月19日 (金) 午後5時

(2) 訓練の概要

EMIS登録医療機関が、別紙「実施計画」に基づいて、自施設の被災状況や受入れ可能な患者数等を想定し、EMISへ入力 (報告) する。

なお、訓練実施期間中は、いつでも何度でも入力可能。

2 配付資料

- 【別紙】令和3年度神奈川県と医療機関の災害時医療情報伝達訓練 実施計画
- 【簡易操作手引き】広域災害救急医療情報システム

問合せ先

災害医療グループ 小井澤、細矢、村田

電話番号 : 045-210-4634 (直通)

電子メール : fukusou.kiki@pref.kanagawa.lg.jp

令和3年度神奈川県と医療機関の災害時医療情報伝達訓練 実施計画

1 訓練のねらい

- (1) 情報共有ツールとしてのEMISの特徴・機能等の理解と操作（入力）方法の習得
- (2) 災害時に医療機関が発信すべき情報・共有が必要な情報（医療機関の被災状況、患者受入れ情報等）の把握
- (3) 医療機関と行政、関係機関が支援・応援情報等を迅速に伝達し、共有できる体制の確立

2 訓練実施日等

実施日時：令和3年11月15日（月）午前8時30分～11月19日（金）午後5時

発災時点：令和3年11月15日（月）午前6時

入力(報告)時点：令和3年11月15日（月）午前8時

※ 広域災害救急医療情報システム（以下「EMIS」という。）への入力（報告）は、発災後2時間経過時点での被害状況等を各自で想定して入力する。

3 災害想定

- 令和3年11月15日（月）午前6時に、東京都大田区を震源とする地震（マグニチュード7.3、最大震度6強）が発災した。
- この地震により、県内全域に大きな被害が生じ、道路・橋梁等の一部が通行不可、鉄道は地震発生直後から不通となり、復旧の見込みは立っていない。
- 発災から2時間後現在（11月15日（月）午前8時00分）、横浜市鶴見区、港北区、都筑区、青葉区の全域、川崎市全域、相模原市、海老名市では、電気、ガス、及び水道は停止しており、復旧の見込みは立っていない。
- その他の地域では、電話及び電力が回復し始めているものの、水道等ライフラインの回復は全体的に進んでいない。なお、この地震による津波の心配はない。

<各地の震度等>

震度	地域
震度6強	横浜市（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区、港北区、青葉区、都筑区）、川崎市（川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区、宮前区、麻生区）、相模原市（緑区、中央区、南区）、海老名市、座間市
震度6弱	横浜市（保土ヶ谷区、磯子区、金沢区、戸塚区、港南区、旭区、緑区、瀬谷区、栄区、泉区）、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
震度5強	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、平塚市、大磯町、二宮町、秦野市、伊勢原市、小田原市、厚木市、大和市、綾瀬市、南足柄市、山北町、開成町、中井町、松田町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村

4 医療機関（病院・診療所）の状況

- 医療機関の被害状況は、施設の耐震性により異なる。
- 医療機関の設備（自家発電機、燃料の備蓄量、プロパンガス、受水槽、井戸設備等の保有等）の状況により、診療継続の判断は異なる。
- 診療継続が困難な場合は、今後の患者等への対応（入院患者の一部転送等）を決定する。
- 医療機関の施設・設備が安全であり、診療を継続できる医療機関（災害拠点病院、災害協力病院等）においては、他病院からの受入れ可能な患者数等をEMISに入力する。

5 訓練内容

(1) 被災想定の確認

医療機関は、「2 災害想定」や「3 医療機関の状況」を踏まえ、自施設の被災状況や受入れ可能患者数等を想定し、訓練に参加する。なお、想定の際は、ハザードマップ等の活用も検討する。

<神奈川県地震被害想定調査><http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5151/p15579.html>

（自施設が所在する市町村のハザードマップも、この機会に併せて確認）

(2) 訓練項目（入力手順）等

①EMISの「関係者メニュー」からログイン。

機関コード、パスワードの確認、所属を「神奈川県」にする。

URL : <http://www.wds.emis.go.jp/>

②「緊急時入力」を開始

→ 「倒壊状況」「ライフライン・サプライ状況」「患者受診状況」など自施設の被災情報を入力

→ ボタン色の変化を確認

③「詳細入力」を開始

→ 自施設の詳細な被害状況等を入力する。

→ 「施設の倒壊または倒壊の恐れの有無」「ライフライン・サプライ状況」等の項目ごとに入力


→ ボタン色の変化を確認する。

④「医療機関等・支援状況モニター」により、医療機関の被災状況等を一覧表示で確認

⑤「統合地図ビューアー」により、医療機関の被災状況等を、地図に重ねた情報として表示し確認

※訓練実施期間中は、いつでも何度でもシステム入力可能

6 EMISの操作マニュアル

- EMISの操作方法は、別添「【簡易操作手引き】広域災害救急医療情報システム（EMIS）」を参照
- 操作手引書は、「EMISメニュー画面」の で項目ごとにダウンロード可能

【簡易操作手引き】 広域災害救急医療情報システム (Emergency Medical Information System)

神奈川県健康医療局
医療危機対策本部室災害医療グループ



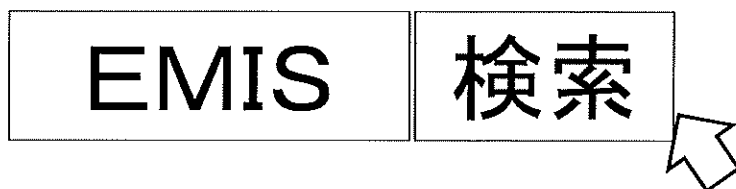
目次

- ① 広域災害救急医療システム(EMIS)のログイン方法
- ② EMISのメニュー画面
- ③ 緊急時入力
- ④ 詳細入力
- ⑤ 医療機関等・支援状況モニター
- ⑥ 統合地図ビューアー
- ⑦ 医療機関基本情報管理
- ⑧ 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の全体像

①-1 広域災害救急医療システム(EMIS)のログイン方法

広域災害救急医療情報システム (Emergency Medical Information System)

<ホームページの検索>



<アドレス>

<http://www.wds.emis.go.jp/>

①-2 広域災害救急医療システム(EMIS)のログイン方法

<http://www.wds.emis.go.jp/>

画面の色は、「運用モード」で変わります。
 「赤色」……災害運用
 「黄色」……警戒運用
 「青色」……訓練運用

1 関係者ログイン

2 ログイン情報入力

①機関コード
 ②パスワード
 ③所属(神奈川県)

EMIS Emergency Medical Information System

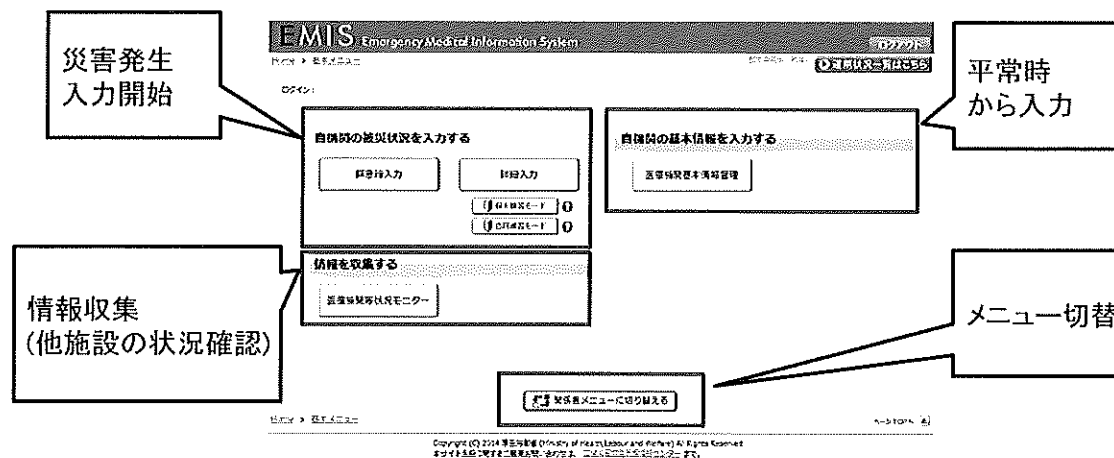
●ログイン情報を入力してください

1. 機関コード、パスワードは必ず入力してください。
2. パスワードは大文字、小文字が混在します。
3. ログインした後は、機関コードおよびパスワードを再入力する必要があります。
4. ログイン(成功)後、緊急ボタンをクリックした場合、EMISが緊急モードで動作します。
5. ログイン(成功)ボタンをクリックした場合、EMISが通常モードで動作します。

機関名	機関コード	パスワード	所属(神奈川県)	最終更新日時
横浜	20140801	123456	横浜救急病院	2014/08/01 14:30:00
川崎	20140802	123456	川崎救急病院	2014/08/02 10:00:00
相模原	20140803	123456	相模原救急病院	2014/08/03 09:00:00
横浜	20140804	123456	横浜救急病院	2014/08/04 10:00:00
川崎	20140805	123456	川崎救急病院	2014/08/05 10:00:00
相模原	20140806	123456	相模原救急病院	2014/08/06 10:00:00

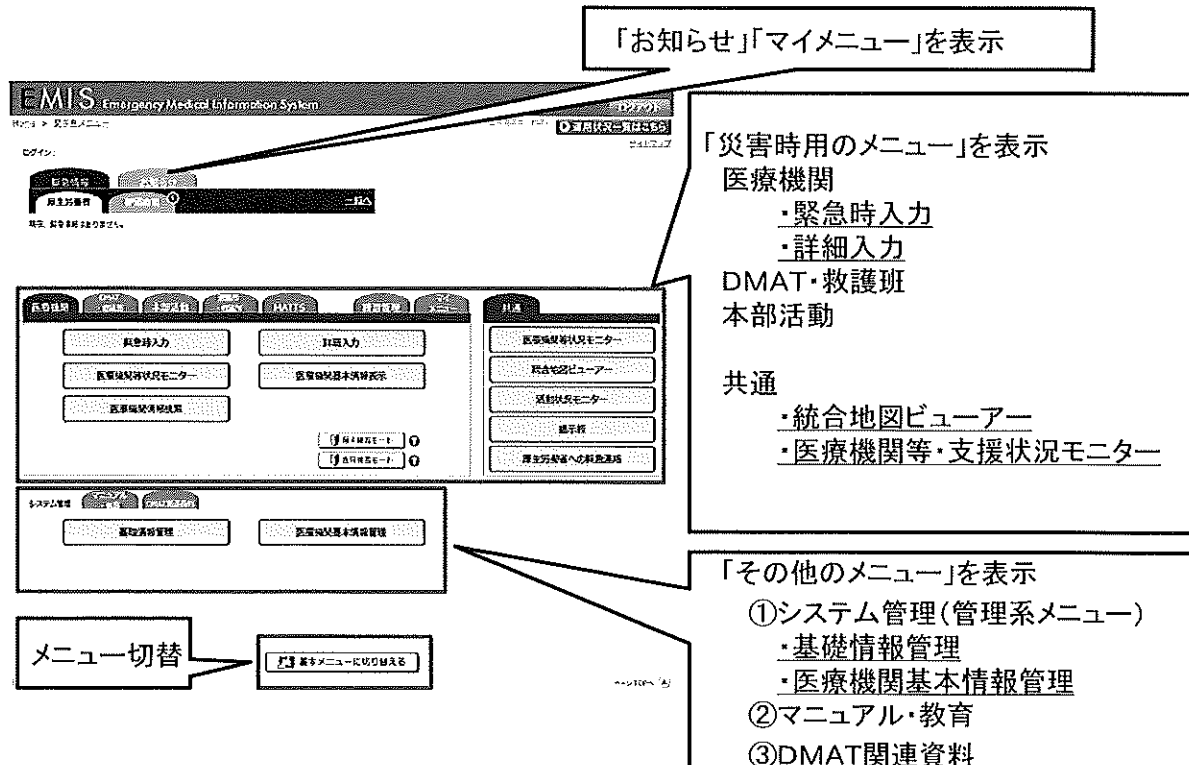
②EMISのメニュー画面(基本メニュー)

「表示メニュー」は「利用者権限」で異なります。



②EMISのメニュー画面(関係者メニュー)

「表示メニュー」は「利用者権限」で異なります。



③-1 緊急時入力 -医療機関の被災情報-

緊急時入力
= 病院の安否確認

「赤ボタン(白文字)」の意味

- ・平時の医療機能が維持できていない
- ・支援が必要な病院

緊急時入力項目 入力

緊急時入力(発災直後情報)

入院病棟の危険状況

引落、または倒壊の恐れ

火災

浸水

ライフライン・サプライ状況
(代用手段での使用時は、併用「有」または「不足」を選択してください)

電気の運搬の余裕

水の運搬の余裕

医療ガスの不足

医薬品・衛生資器材の不足

患者受診状況

多数患者の受け入れ

職員状況

職員の不足

その他被災箇所の必要状況

その他

上記以外で支援が必要な理由があれば入力してください。(200文字以内)

上記以外で支援が必要な場合にのみ記入してください。

情報日時

情報取得日時

上記内容(緊急時入力(発災直後情報))の状況を把握した日時を入力してください。

2020年10月23日

11時57分

緊急連絡先

電話番号

メールアドレス

入力

③-2 緊急時入力 -緊急時入力項目の説明-

緊急時入力項目 入力

緊急時入力(発災直後情報)

入院病棟の危険状況

引落、または倒壊の恐れ

火災

浸水

ライフライン・サプライ状況
(代用手段での使用時は、併用「有」または「不足」を選択してください)

電気の運搬の余裕

水の運搬の余裕

医療ガスの不足

医薬品・衛生資器材の不足

患者受診状況

多数患者の受け入れ

職員状況

職員の不足

その他被災箇所の必要状況

その他

上記以外で支援が必要な理由があれば入力してください。(200文字以内)

※その他に入力があつた場合、医療機関等・支援状況モニターに「支援要否:要」と表示されます。

情報日時

情報取得日時

上記内容(緊急時入力(発災直後情報))の状況を把握した日時を入力してください。

緊急連絡先

電話番号

メールアドレス

入力

緊急時入力(発災直後情報)

発災直後の医療機関情報(医療機関として機能しているか、支援が必要か)の入力を行う。

①入院病棟の危険状況

入院病棟の倒壊、または倒壊の恐れ、火災および浸水があることで患者の受け入れが困難な場合“有”を選択する。

②ライフライン・サプライ状況

ライフライン・サプライ(電気、水、医療ガス、医薬品・衛生資器材)の使用不可・不足により医療行為が行えない場合“無”または“不足”を選択する。

③患者受診状況

キャパシティのオーバーによってこれ以上患者の受け入れが困難な場合“有”を選択する。

④職員状況

職員の不足によって治療行為が行えない場合には、“不足”を選択する。

⑤その他

①～④以外の理由で支援が必要な場合にその欄にフリーで理由の入力を行う。

⑥情報日時

①～⑤の状況を把握した日時を入力する。

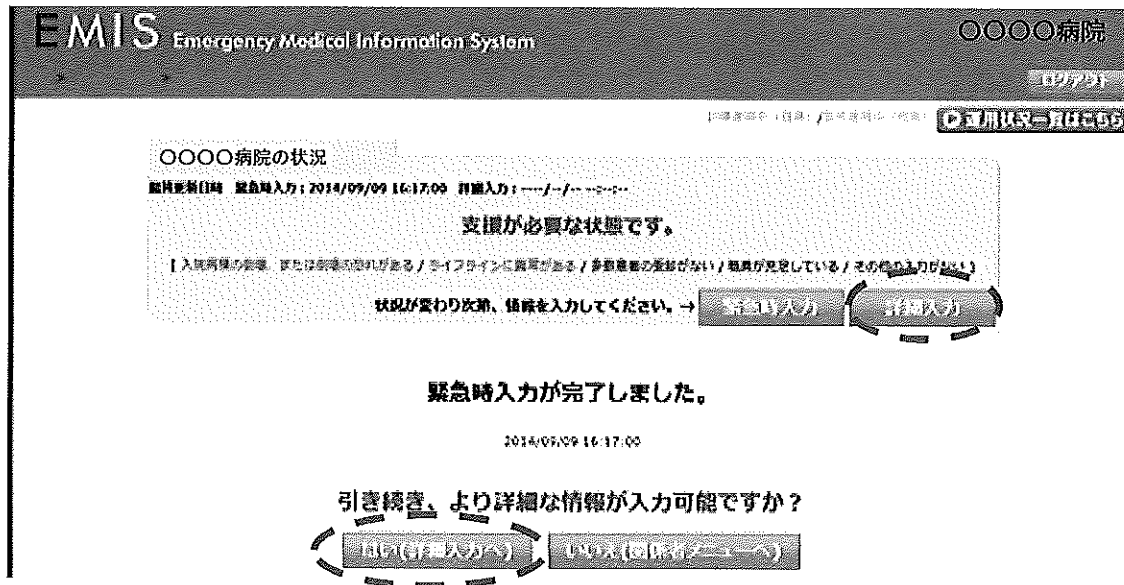
⑦緊急連絡先

緊急時の連絡先を入力する。

緊急事態となっている状況をとにかく通報する!

③-3 緊急時入力後の画面 詳細入力への画面遷移

「緊急時入力」後、病院内の詳細の被害等の状況(情報)を「詳細入力」に入力します。



8

④-1 詳細入力項目(画面上部) -詳細入力項目の説明-



詳細入力(医療機関情報)

医療機関の情報がある程度把握できた頃に入力を行う。医療機関の状況、災害医療の実績を入力する。

①建物の危険状況

建物の倒壊、または倒壊の恐れ、火災及び浸水の状況の有無を建物ごとに選択する。その他には、その他の建物の状況を入力する。

②ライフライン・サプライ状況

現在のライフライン・サプライの状況を個別に選択する。不足の医薬品欄には、不足している医薬品名を入力する。

③手術・透析の状況

手術の可否、人工透析の可否を選択する。

④現在の患者数状況

「発災後受け入れた患者数」には、発災後受け入れた患者数の累計を入力する。

「在院患者数」には、入院患者を含め、現在院内にいる患者の総数を入力する。

緊急事態となっている状況を繰り返し通報する! ※項目ごとに、情報を取得した日時を入力する。

9

④-2 詳細入力項目(画面下部) -詳細入力項目の説明-

⑤今後、転送が必要な患者数

入院患者を含めた在院患者のうち、転送が必要な患者数を入力する。人工呼吸/酸素が必要な患者数、担送/護送者数を入力することで、どのような患者の転送が必要かを発信する。

⑥今後、受け入れ可能な患者数

今後、受け入れが可能な患者数を入力する。人工呼吸/酸素が必要な患者数、担送/護送者数を入力することで、どのような患者の受け入れが可能かを発信する。

⑦外来受付状況、および外来受付時間

外来受付の状況を入力する。

⑧職員数

現在の医療機関に出動している職員数を入力する。

⑨その他

その他、①~⑧以外の特記する事項(自医療機関周辺のアクセス状況等)をフリー入力する。

緊急事態となっている状況を繰返し通報する! ※項目ごとに、情報を取得した日時を入力する。

10

④-3 詳細入力(補足) -詳細入力項目の検索機能-

「詳細入力」は、一度にすべての項目(情報)を入力する必要はありません。
分かるものから、随時、入力してください。

入力状況を把握できます。

リンクをクリックすると、
その「情報の入力欄」に、スクロールします。

11

⑤ 医療機関等・支援状況モニター(参照系機能)

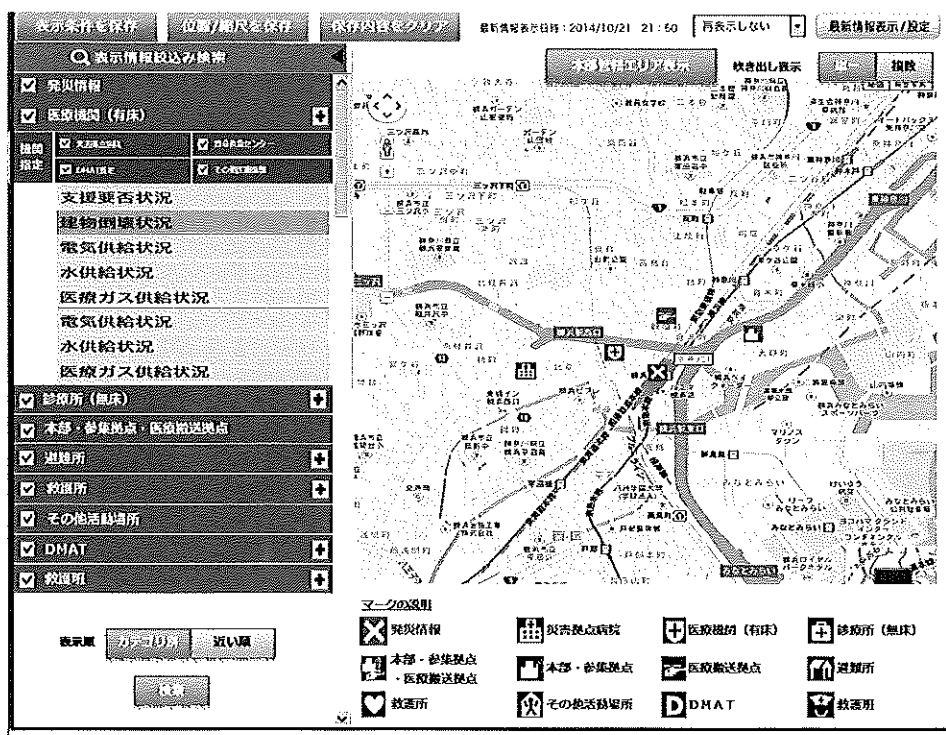
「医療機関等の被災状況」、「DMAT等による支援状況」を「モニター画面(一覧表示)」で、確認できます。

<p>要手配 (赤色表示) 支援が必要である旨の入力があるが、支援チームがいない状態</p>	<p>未入力(ピンク表示) 緊急時入力を実施されていない状態</p>	<p>手配済 (黄色表示) 支援チームの手配が完了し、まだ到着していない状態</p>	<p>支援中(オレンジ色表示) 支援チームが活動している状態</p>
---	---	---	---



⑥-1 統合地図ビューアー(参照系機能)

「医療機関等の被災状況」「支援に向かうDMATの位置」等を、地図に重ねた情報として表示し、確認できます。



⑦-2 医療機関基本情報管理 -病院の基本情報(画面下部)-

基本情報

※表示されるタブはユーザーにより異なります。
 ※「基本情報」を登録するとその後のタブが入力できるようになります。(一部ユーザーは除外)

入力に付するパスワード:

更新

DMAT指定年度 年度 例: 2010 > 既登録で入力

DMATチーム数 チーム数: 0 目的: 施設種別: 医務員員数:

救急基幹数 医師数: 人 救急トヨタ数(救急車1台): 人

病院規模

許可病床数	<input type="text"/> 床	手術室数	<input type="text"/> 床
実床数	<input type="text"/> 床	特別病室数	<input type="text"/> 床
ICU病床数	<input type="text"/> 床	緊急入院床数	<input type="text"/> 床

年次救急患者数

年次救急外来患者数	<input type="text"/> 人	年次救急入院患者数	<input type="text"/> 人
年次受入救急患者数	<input type="text"/> 台	三次救急患者数	<input type="text"/> 人

診療科種別

<input type="checkbox"/> 救急科	<input type="checkbox"/> 呼吸器科	<input type="checkbox"/> 消化器科 (胆嚢科)
<input type="checkbox"/> 循環器科	<input type="checkbox"/> 小児科	<input type="checkbox"/> 精神科
<input type="checkbox"/> 神経科 (神経内科)	<input type="checkbox"/> 外科	<input type="checkbox"/> 整形外科
<input type="checkbox"/> 産婦人科	<input type="checkbox"/> 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 心臓血管科
<input type="checkbox"/> 皮膚科	<input type="checkbox"/> 眼科	<input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科
<input type="checkbox"/> 放射線科	<input type="checkbox"/> 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 放射線科
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 歯科	<input type="checkbox"/> 内科

一斉連絡種別

FAX1

FAX2

メールアドレス1

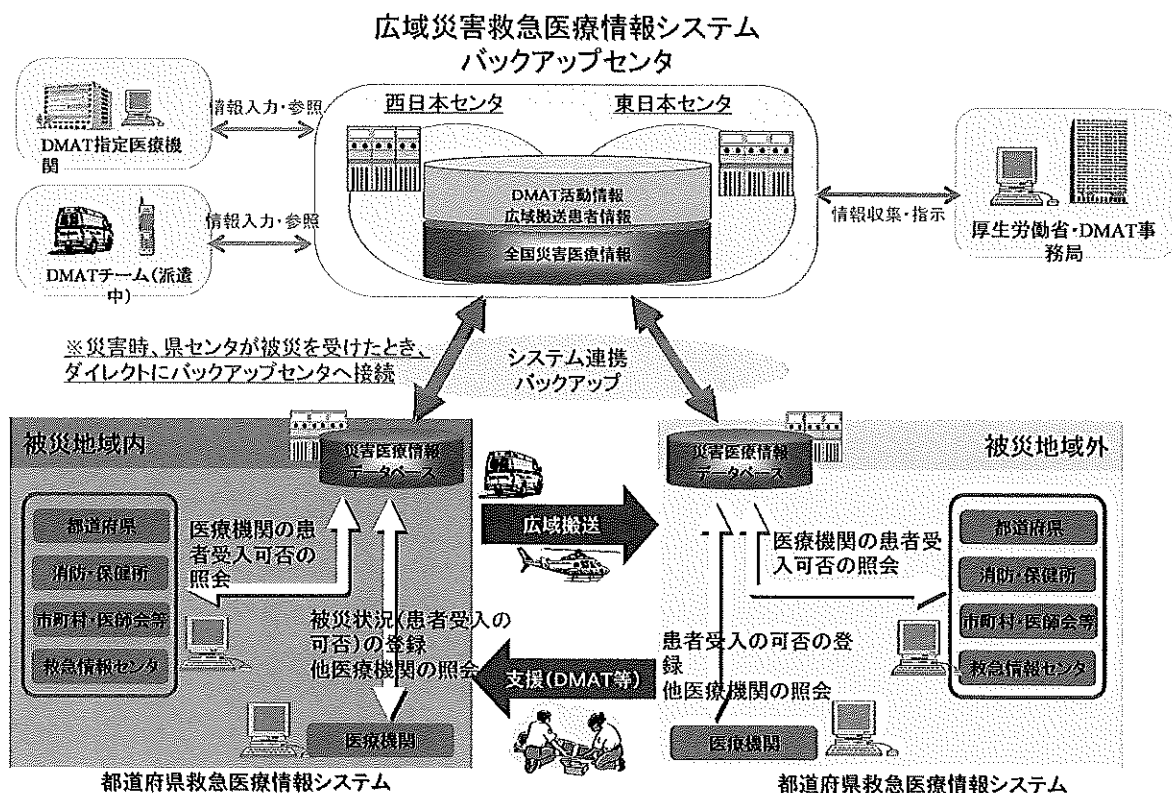
メールアドレス2

メールアドレス3

※一斉連絡種別はDMAT活動情報システム連携種別で入力済みの情報を表示しています。
 ※訂正する場合は、連絡先管理から訂正をお願いします。

更新

⑧ 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の全体像



EMISの特徴

○医療機関と行政、関係機関の情報共有ツール

○共有する情報

- ・病院被害情報、患者受け入れ情報
- ・病院のキャパシティー: 平時に把握
- ・DMAT、救護班の活動状況

○情報のリスト

- ・災害時に共有が必要な情報
- ・病院が発信すべき情報
- ・災害時病院マネジメントに必要な情報
→ 病院支援ツール

我が国の災害医療体制

